

流動調査および重要関係指標の時系列表

Table with multiple columns: 種別 (Period), 仕入量 (Input), 販売量 (Sales), 在庫量 (Inventory), 在庫率 (Inventory Ratio), 全鉄連流通調3品目総合 (Overall), 全品種 (All Products), 3品目 (3 Products), 販売店 (Retailer), 粗鋼生産 (Crude Steel Production), 粗鋼生産実績 (Crude Steel Production Actual), 小棒生産 (Small Rod Production), 日形鋼生産 (Flat Steel Production).

※販売店収益動向(DI)は毎月の各地区業況アンケート結果・問3より。(=変更)

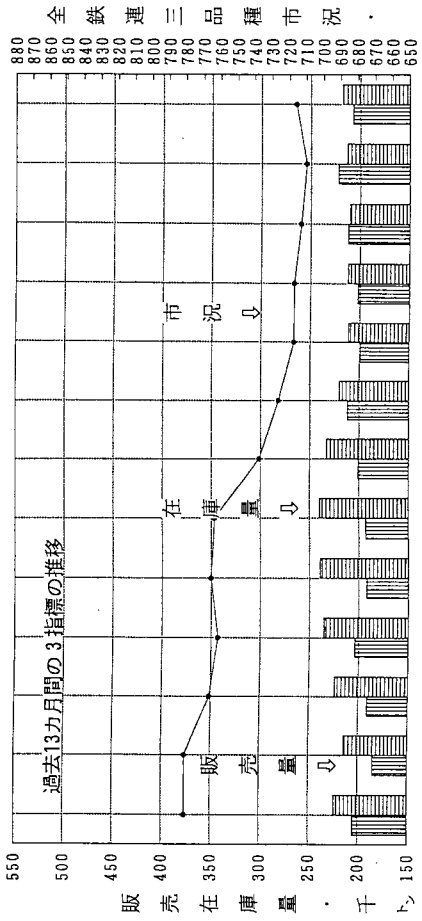
2022年12月

販売減在庫増が見通しに明るさ

〈総計欄〉 12月の仕入れ量は211,957トン前月比-5.8%前年同月比+5.8%、販売量は206,722トン前月比-7.0%前年同月比+0.7%。前月比で仕入れ、販売共に減少、前年比では仕入れ増加、販売微増でした。第3四半期としては仕入れ646,873トン前期比+9.3%、前年同期比+5.8%、販売640,791トン同+4.5%同+3.4%となり、市場環境が徐々に好ましく、改善されているようです。一方、在庫量は218,341トン前月比+2.5%前年同月比-2.5%、在庫率は105.6ポイント。10月、11月と1カ月を切っていますが、一転して1カ月前の在庫水準となりました。ただ、1~3月に向けての見通しは明るいものがあります。

〈販売欄〉 品種別では異形棒鋼が11.4%の著減、大阪8.6%減少、愛知2.4%増加となつています。H形鋼は3.1%減少、C形鋼9.7%と4品種共減少しています。その他品種は山形鋼3.1%、溝形鋼2.1%、コラム4.2%減少、C形鋼9.7%と4品種共減少しています。

〈在庫欄〉 品種別では異形棒鋼1.9%増加、大阪10.2%減少、愛知12.6%の著増と3地区3様でした。H形鋼は0.6%の微減、東京1.1%、愛知4.2%と両地区で増加、大阪4.7%減少となっています。その他品種では山形鋼1.9%、溝形鋼5.3%、C形鋼6.4%と3品種が増加、コラムは12.7%の著増でした。



23/12 24/1 仕入れ販売共に大きく減少 需要期待感あるも一進一退
2 市況軟弱地合で停滞感強い 値上げたが鈍い市中の反応
3 停滞感引きずり荷動き悪化 在庫量減少
4 販売不振在庫過剰市況軟化 市況下落販売増も高在庫率
5 販売増在庫減で在庫率低下 販売在庫減少しい回復感
6 販売先細り在庫削減進まず 仕入れ販売共年度最高実績
7 在庫減販売増も市況弱含み 鋼市況下げ止まり反騰へ